

平成28年度 福井県立金津高等学校 学校評価書

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導・ 地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕	①教師自らが授業力の向上、資質向上を図るとともに、「確かな学力」を身につけさせるために積極的に授業改善に努める。	○授業力、指導力の向上に日々積極的に取り組んでいる。 ○生徒の理解度は、目標指数は上回っているが、全学年とも昨年度を下回った。 ○保護者から見た子どもの学習状況は、全体としては昨年並みの数値であったが、1年生は昨年を下回った。	◇授業や指導方法など、教員間教科間でのさらなる議論を深める機会を増やす。 ◇低学年における学習習慣の確立と将来の進路を念頭においた学習目的、意識の高揚を図る方策を学年会と連携して立てる。 ◇家庭学習時間の確保のために日々の生活習慣の見直しなどに学校全体で取り組む。
	②地域との連携をとおして、中高一貫教育の充実および関心・理解の深化に努める。	○中高一貫教育の事業への取り組み状況およびその成果への評価は、関係教職員、連携中3生徒、保護者とも高い数値を示している。ただ、記述意見では、制度・事業の抜本的な見直しを求めるものが多くみられる。	◇連携中学との連絡・調整などをこまめに行う。 ◇本校に在籍する連携クラスの生徒の学力向上に向けた取り組みを計画、実践していく。
2 生徒指導 〔生徒指導部〕	①登校指導や頭髪服装指導をとおして、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度の育成に努める。	○毎朝の登校指導や生徒会の活動などをとおして、挨拶に代表される基本的な生活態度が身につけている生徒の割合は高い。前年度に引き続き、挨拶が十分にできていない生徒も一定数見られる。	◇引き続き、全体指導やクラス単位の指導、個人面談等、すべての機会を通して、挨拶の意味や基本的な生活態度の確立の重要性を啓発する。また、生徒会とも協働して、生徒自身が挨拶の意義を考える機会を増やす。
	②学校行事や部活動に積極的に取り組みせ、生徒の自主的・実践的態度とリーダーの育成に努める。	○多くの生徒が自主的・積極的に諸行事に取り組んでいるが、あまり積極的でない生徒の割合が増加している。教職員による生徒個人への支援にさらに取り組む必要がある。	◇生徒が学校行事や特別活動において、達成感や充実感を味わえるよう、個々の行事等の内容を精査し、参加に積極的でない生徒にもそれぞれに適した参加の場を与えたり、参加を支援したりするよう努める。
	③いじめの未然防止、早期発見、早期解決に対する教職員の意識の高揚に努める。	○いじめ問題に対する認識および取り組みは目標指数を上回ったが、さらに積極的に取り組む必要がある。	◇研修や会議等を利用して、いじめ問題に対する正しい理解をさらに推進する。
3 進路指導 〔進路指導部〕	①進路志望実現のために、土曜講座や志望大学別講座等を実施し、応用力の養成に努める。	○教職員・保護者ともに目標指数を上回った。	◇生徒の実情に応じた志望大学別講座の内容や冬期補習の実施方法等を検討する。
	②進路研修会や進路だよりなど、各学年に応じた適切な進路指導の充実を努める。	○教職員・生徒・保護者ともに目標指数を上回ったが、生徒の指数が2年生で例年を下回った。	◇各学年との連携を密にして、生徒の早期進路志望決定に役立つ企画の実施に努める。保護者に対しても、有用な進路情報の提供に努める。

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
4 保健管理 〔保健部〕	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深め、自己管理能力を育てる。	△教職員・保護者については、昨年度指数や目標指数を上回ったが、生徒は目標指数をやや下回り、健康意識の低下が感じられる。	◇掲示板や保健便り、個々の生徒への指導を通じて、健康管理の必要性を自覚させるように努める。
	②清掃指導の充実を図り、美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践に努める。	△校内での教員および生徒の清掃に対する取り組みは目標指数を上回っているが、家庭での整理整頓に対する保護者の評価で目標指数に達しなかった。	◇校内での整理整頓や清掃指導をとおして美化意識を育て、保護者とも連携して家庭での状況向上につながるよう努める。
	③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	○昨年度指数や目標指数を上回り、教職員は全員努力していた。	◇引き続き、連携を取りながら一つ一つの事例を理解し、対応していく。
5 開かれた学校づくり 〔渉外・防災部〕	①地震や火災を想定し、避難訓練や緊急時の対応等をとおして、防火防災意識の向上と防火防災体制の充実に努める。	○教職員・生徒・保護者ともに目標指数を上回った。	◇避難訓練や冬期のストーブの取り扱い等の機会をとらえ、関係機関と連携しながら、防火防災意識を高める働きかけをしていく。 ◇緊急メールシステムへの登録を促し、保護者への連絡がいつでもスムーズにできるようにしていく。
	②PTAだより等をとおして、本校教育の取組を積極的に広報し、保護者や地域社会と連携した活動の充実に努める。	○教職員・保護者ともに目標指数を上回った。	◇今後も、保護者や地域に、学校の教育活動やPTA活動について理解してもらえるように、PTAだより等を通じ情報発信していく。
6 図書指導 〔図書部〕	①図書および資料の整備と充実に努める。	○定期的な広報活動と図書館の環境整備に努めた結果、教職員・生徒ともに目標指数を上回った。	◇生徒への広報活動の充実を図る。
	②朝読書をはじめとした読書指導の充実および読書マナーの向上に努める。	○教職員・生徒・保護者ともに目標指数を上回った。教職員全体に朝読書の意義を浸透させていくことが今後の課題である。	◇生徒の興味関心を引くような書籍の購入、学級文庫の設置に努める。

備考：「成果と課題」欄の「○」「△」は、アンケート集計結果に基づき、目標指数を達成した場合には「○」、達成しなかった場合には「△」で示している。